



開催直前 ソフトボール大会(4/27) 応援特集



先月号では大会参加21チームをご紹介しましたが、本号では各チームが参加したキャプテン会議で決定された今大会のルールと、組合せ抽選結果によるトーナメント表を掲載します。相手チームの顔ぶれが決まったことで、これからますます練習に力が入り、大会当日は数々の熱戦が繰りひろげられることと思います。

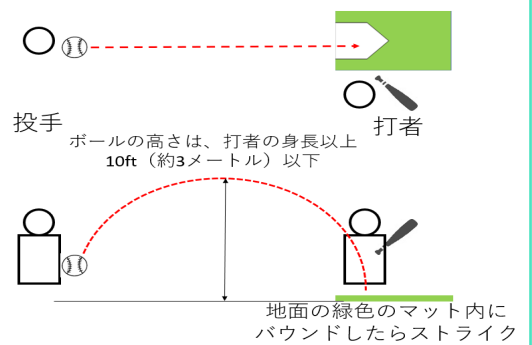
新ルール: 本大会より、より多くの選手の参加を促すこと、また女性/子供枠の選手がより楽しめるルールとすることを目的に、①女性/子供枠の選手に限り0ボール0ストライクから開始、②先発出場選手に限り元の打順を引き継ぐ形で一度だけ再出場する権利を有する「リエントリー制」を導入(但し、女性/子供枠の選手は、従来通り無制限に再出場可(同じ打順に限る))、の2点が新ルールとして導入されました。今まで以上に柔軟な運用ができるようになった一方、審判やスコアラーの方の負担は増えることが想定されますので、各チームに於かれましては円滑な試合進行にご協力をお願い申し上げます。

試合時間: 一試合は7イニング制、但し60分を超えた時点で新しいイニングには入りません。例えば、6回裏が終了した時点で試合開始から59分であれば7回表裏も実施、6回裏が終了した時点で試合開始から61分経過していればその時点で試合終了、といった具合です。1イニング毎の時間が延びると、4、5回程度で終了になることもあります。

選手選考: 各チームは2名以上の女性/子供、及び2名以上の40歳以上の選手を常時出場させる必要があります。また、女性/子供が打つ時は外野手ローバーがボールを触った時点でヒットとなり、ワンベースが与えられます(フライを含む)。女性/子供が打つ時にどのような守備隊形を取るのか、また女性/子供にどのポジションを守らせるのかがポイントになります。

打つ: 女性/子供枠の選手を除き、各バッター1ボール1ストライクから開始するため、早いカウントでしっかり仕留める積極性、確実性が求められます。チームによっては、相手の守備の薄いところを狙う容赦ない“テクニシャンタイプ”のバッターもいるようです。ご注意ください。ソフトボールはボールが大きくて飛び辛い一方で、塁間が狭いので外野の頭を超えればランニングホームランになりやすいです。

投げる: 本大会は初心者でも打ちやすいスローピッチのルールが採用されています。また、2ストライクから2回目のファウルはアウトになります。ピンチの場面でも落ち着いたピッチングができるか否かが試合のカギとなります。



走る: ランナーはバッターがボールを打ってからでないとベースを離れてはいけません(盗塁も禁止)。これにより、フォースアウト(*)が多くなる傾向にあり、守備の選手とランナーの交錯リスクを低減するため、ホームベースと一塁ベースは守備用とランナー用で分けてそれぞれ2つずつ設置されています。また、三本間の中間地点を超えた時点で三塁に戻ることはできず、その場合は意を決して本塁に突入する必要があります。

(*)ランナーが次塁に達する前に、野手がボールを持ってランナー或いは次塁に触れてアウトにすること。

守る: 守備は10名。通常の9名に加えて、フレキシブルに配置可能な「ローバー」というポジションがあります。バッターが強打者の時は4人目の外野手として、内野ゴロのアウトが欲しい場面では二遊間を固める等、様々な戦略が考えられます。スローピッチの特性上、右打者はレフト方面、左打者はライト方面に強い打球を飛ばすことが多く、相手バッターや状況に合わせた守備位置変更にも注目です。

(編集委員 竹原 優)

トーナメント表

トーナメント表は以下の通りです。さて、栄冠は誰の手に!?

